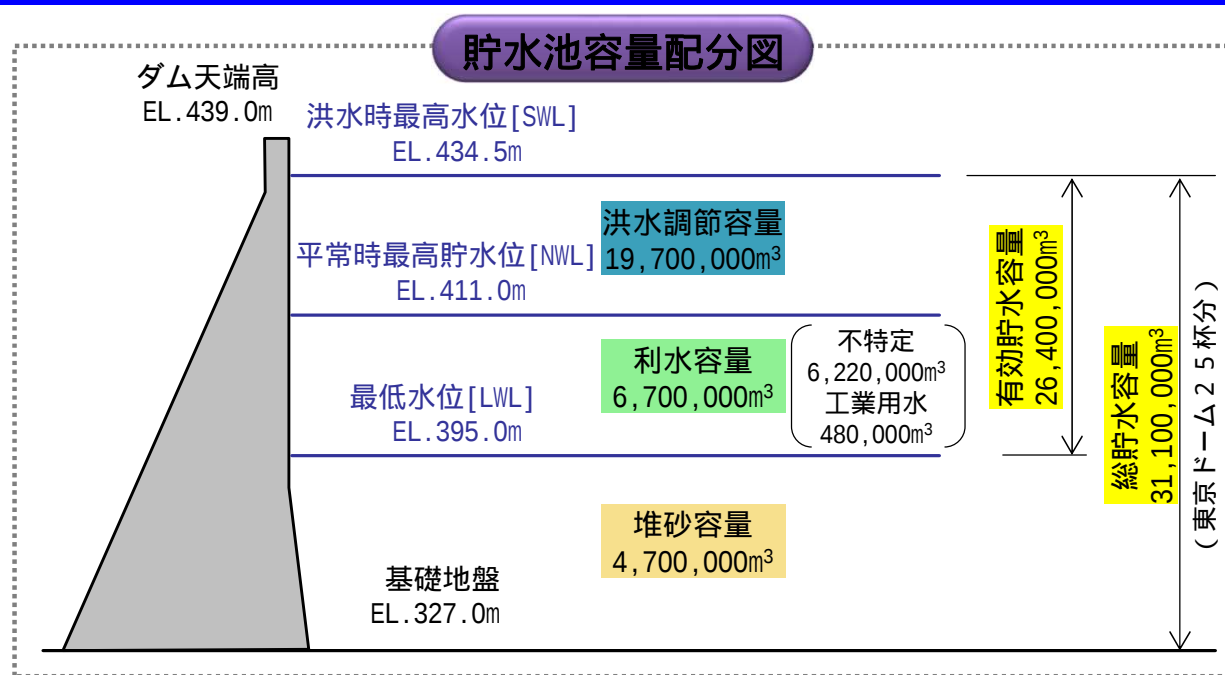
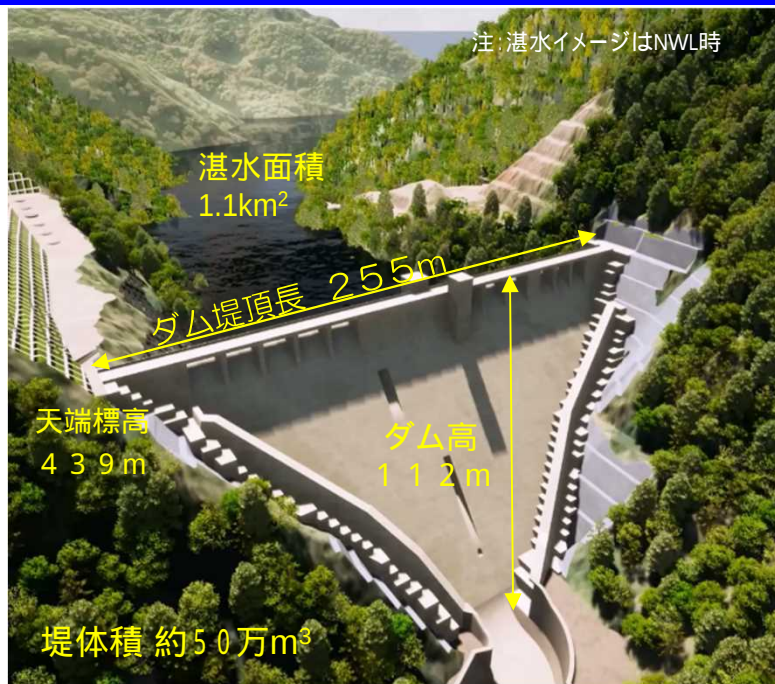


第 1 2 回利賀ダム建設事業監理委員会資料

- 資料 - 1 利賀ダム建設事業の概要
- 資料 - 2 第11回委員会の審議結果
- 資料 - 3 事業の実施状況等に関する事項
- 資料 - 4 コスト縮減に関する事項

利賀ダム建設事業の概要

北陸地方整備局 利賀ダム工事事務所



- 河川名
一級河川庄川水系利賀川
- 位置
左岸：富山県南砺市利賀村押場地先
右岸：富山県南砺市利賀村草嶺地先
- 総事業費
約1,640億円（基本計画変更後）
- 工期
令和13年度完成予定（基本計画変更後）
- ダム諸元（基本計画変更後）

形 式	重力式コンクリートダム
堤 頂 標 高	E L.4 3 9 . 0 m
堤 高	1 1 2 . 0 m
堤 頂 長	2 5 5 . 0 m
堤 体 積	約50万m³

■ 貯水池諸元

集 水 面 積	9 5 . 9 k m ²
湛 水 面 積	1 . 1 k m ²
設 計 最 高 水 位	E L.4 3 7 . 0 m
洪 水 時 最 高 水 位	E L.4 3 4 . 5 m
平 常 時 最 高 水 位	E L.4 1 1 . 0 m
最 低 水 位	E L.3 9 5 . 0 m
総 貯 水 容 量	3 1 , 1 0 0 , 0 0 0 m ³
有 効 貯 水 容 量	2 6 , 4 0 0 , 0 0 0 m ³
堆 砂 容 量	4 , 7 0 0 , 0 0 0 m ³
洪 水 調 節 容 量	1 9 , 7 0 0 , 0 0 0 m ³
流水の正常な機能を維持するための容量	6 , 2 2 0 , 0 0 0 m ³
工 業 用 水 容 量	4 8 0 , 0 0 0 m ³

利賀ダム建設事業の目的

■ 洪水調節

庄川の洪水氾濫から沿川地域を守り、また、急流河川特有の流水の強大なエネルギーから堤防の安全性を確保するため、利賀ダム地点において毎秒500立方メートルの洪水調節を行い、下流全川にわたり洪水の流量の低減を図ります。



H16.10.台風23号 庄川洪水
観測史上最高水位を記録
2,840名に避難勧告

■ 流水の正常な機能の維持

庄川の安定した流量は、地域の生活や産業を支える用水をはじめ、水質の保全、良好な動植物の生息・生育環境に必要です。利賀ダムでは、庄川の流水の正常な機能の維持を図るための補給を行います。



鮎釣り

■ 工業用水

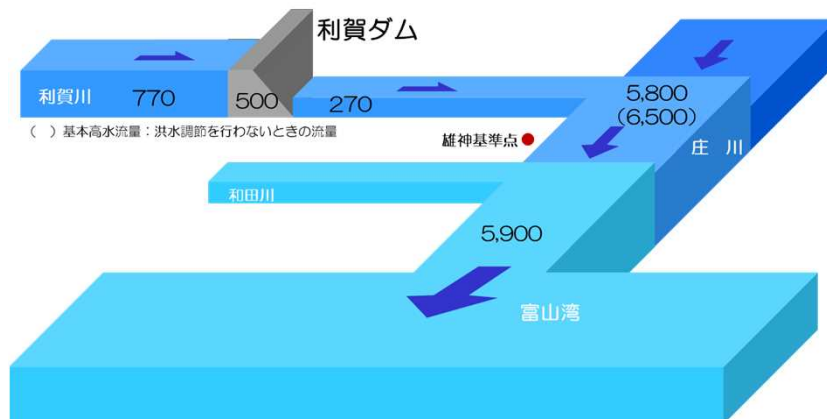
砺波工業団地で使用する工業用水として、富山県企業局が1日最大8,640立方メートルの取水が可能となるよう、利賀ダムにおいて新たな水需要量の開発を行います。



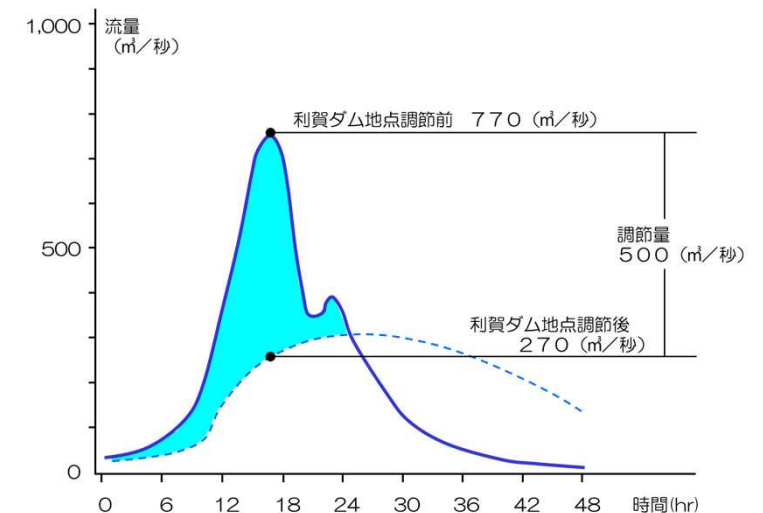
砺波工業団地



■ 流量配分図 (m³/s)



■ 洪水調節計画



利 賀 ダ ム 建 設 事 業 の 経 過

平成元年 5 月	実施計画調査に着手、利賀ダム調査事務所開設
平成 5 年 4 月	建設事業に着手、利賀ダム工事事務所に改称
平成 6 年11月	基本計画告示
平成15年 9 月	水没家屋全戸（ 3 戸 ）生活再建地へ移転完了
平成19年 7 月	庄川水系河川整備基本方針策定
平成20年 7 月	庄川水系河川整備計画策定
平成21年 3 月	基本計画（一部）変更告示 ・ 総事業費 約900億円 → 約1,150億円 ・ 予定工期 平成20年度 → 令和4年度(平成34年度)
平成22年 9 月	国交大臣から利賀ダム事業の検証に係る検討の指示
平成28年 8 月	ダム事業の検証に関する対応方針決定（継続）
令和 2 年 8 月	基本計画（一部）変更告示 ・ 総事業費 約1,150億円 → 約1,640億円 ・ 予定工期 令和4年度 → 令和13年度
令和 6 年 3 月	利賀ダム本体工事着手
■ 事業の進捗	約 4 9 %（ R 5 年度末 変更事業費ベース）

利賀ダム建設事業の進捗状況

5

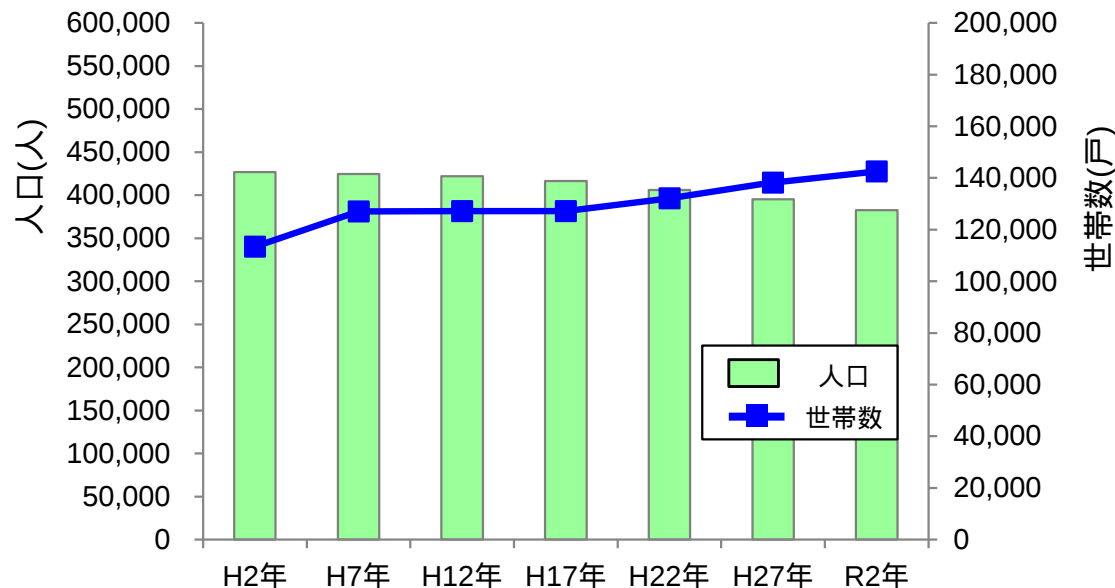
(令和 6 年 3 月末時点)

補償基準	H12. 3 利賀ダム工事用道路建設に伴う補償基準妥結 H14.12 利賀ダム建設事業に伴う補償基準妥結 H15. 6 利賀ダム工事用道路等 (口山地区) 補償基準妥結 } 地権者との用地補償等に係る基準は全て妥結
用地取得 (157ha)	77% (120ha)
家屋移転 (3 戸)	100%(3戸)
代替地(宅地)	100%(3戸移転済)
付替市道 (3.0km)	93%(2.8km)
工事用道路 (11.7km) 現道改良区間を除く	97% (11.3km) 工事用道路11.7kmのうち9.1kmは、国道471号バイパスとの合併施行
ダム本体及び 関連工事	転流工 96% 基礎掘削 0% 本体打設 0% 転流工閉塞 0% 試験湛水 0% R5年度ダム本体工事契約

- 用地取得
 - 代替地
 - 付替市道
 - 工事用道路
 - 本体関連

事業を巡る社会情勢等

- 庄川沿川の想定氾濫区域関連市町村(高岡市、射水市、砺波市、南砺市、小矢部市)人口は40万人程度で近年減少傾向が見られるが、平成27年3月に北陸新幹線が開業し、人・経済・文化等の幅広い交流・流通拠点として、今後更なる地域開発が期待されている。令和6年度から火災保険制度改定により、水害リスクについて5段階評価が適用されるが、人口・資産が集中する高岡市、射水市では最高位の5等地とされ、治水安全度の一層の確保が求められる。



H2年～R2国勢調査結果による

図 想定氾濫区域 関連市町村人口推移

